

いよいよ節電の7月に入りましたが、先月のサッカーワールドカップ最終予選に続き今月末からはオリンピック夏季大会とスポーツの祭典が続く暑い夏がやって来ます。ロンドンオリンピックは7月27日の開会式に先立って、日本時間で7月26日の深夜1時からサッカー日本女子の予選、同日22時45分からサッカー日本男子の予選とさっそく熱い戦いが始まります。

日本とロンドンとの時差がマイナスイ8時間もあり、日本時間で節電のコアタイム外の夜から明け方にかけての時間帯でほとんどの競技が行なわれるので、あまり節電の

影響を受けることなくテレビの前で熱い声援を送る日々が続くことでしょうが、「寝不足で体調を崩すことのないように気をつけましょう」と自分にも言い聞かせています。



## 「北斗の拳」のゴトは ART上乗せの シヨートゴトだった

前号の原稿締め切り日に飛び込んできて緊急にお伝えした「パチスロ北斗の拳・世紀末救世主伝説」のART誘発ゴトですが、5月25日にはサミー株式会社が全日遊連

を通じて各ホール向けにこの不正事案について注意喚起を行なっていますので、すでに多くの方が承知していることと思います。

前号では、詳細不明だった手口もセルによるシヨートゴトであることが判明いたしました。2本のセルを使用してシヨートを起こし、サブ基板にバグを発生させるといふものですが、シヨートを起こすタイミングは、ART突入りプレイ発生時で、そのタイミングでシヨートを起こすことによりART突入りプレイを無かったこと（無効）にするというバグを発生させて、ART準備中の状態を維持し、

その間に特殊小役などを引きARTのゲーム数の上乗せを狙うという手口だということも判明いたしました。



## セルの挿入個所は 右上と精算ボタン下 変化する可能性注意

傷跡や犯行時のしぐさなどから判明したセルの挿入個所として、1本目のセルは液晶右上の「激闘」の文字の「闘」の横に隙間を作り、そこからセルを挿入して裏側にある配線のコネクタ部を狙い（写真1）、2本目のセルは精算ボタン下のランプカバーに隙間を作り、そこからセルを挿入してランプカバー内の基板（写真2）にセルを接触させることでシヨートを起こすというものでした。

現在判明しているセルの接触個所をお伝えしましたが、シヨートさせることが目的であれば、セルの接触個所が別の個所でも犯行が行なわれる可能性が高いので、ゴト情報の広まりとゴト対策の進み具合によっては、狙われる個所や手口が変遷していくことが懸念されますので、今後も十分な警戒が

# ゴトに勝つ

# 12

## 高石隆一

# ミリオンゴツドで最悪の手口 何の履歴も残らないセルゴト



必要です。

前号でもお伝えしたこのゴトによる被害台の特徴ですが、音が出ているのか音小さくなっているのか音が出ないのか状況や、パネルランプが消灯していたとか小役を獲得しても点灯しないなどという状況が多数報告されています。いずれのケースも「電源の切り入り」という簡単な再起動で通常の状態に戻りますが、異常に気が付きながら安易に再起動してゴトを見逃してしまったという残念なケースも発生しておりますので、全ホールスタッフへゴト事例と対応方法の伝達を徹底していただくようお願いいたします。

### 危険度が高い 「Mハンター」や 「Tエンジェル」など



写真1 北斗の拳 セルゴト  
1本目のセルの挿入箇所及び接触箇所



写真2 北斗の拳 セルゴト  
2本目のセルの挿入箇所及び接触箇所

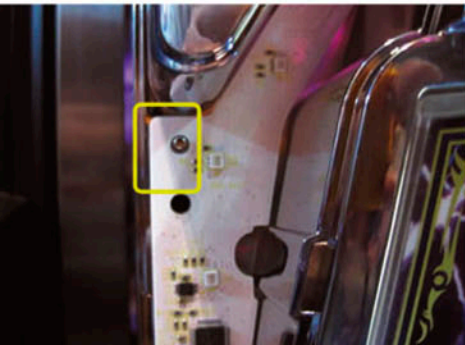


写真3 北斗の拳 セルゴト 焦げた痕跡が見つかった箇所

過去のパターンから、同メーカーで類似の筐体を使用している遊技機において、同様のゴトが発生する可能性が高いと考えられます。ゲーム性の違いなどから本事例のゴトが行なわれるかどうかは不明ですが、同様の手口でシヨートによってサブ基板に影響をあたえることは可能と思われるので、特に「パチスロ北斗の拳F」と同じ筐体を使用してARTのゲーム性が類似している「モンスターハンターZS」やRT突入までのゲーム数を稼ぐ事によりRT個数の上乘せが可能な「ツインエンジェル3」、リプレイの連続入賞によるART突入が可能な「俺の空 蒼き正義魂R」などが非常に危険度が高いのでご注意ください。

※6月11日付けで株式会社ロデオから「モンスターハンターZS」における不正事案に対する注意喚起文が出されておりますのでご確認ください。

### 特徴的な挙動は 液晶画面や サブ基板が飛ぶ

に遭っても各履歴に何にも履歴が残らない手口でのセルゴト被害が発生しております。

防犯カメラの映像や傷跡などから、今までのセルゴトと同様に筐体右上スピーカー付近からセルを挿入している(写真4・5)のは変わりありませんが、もう一方のセル挿入箇所が今までの精算ボタンなどを外してセルを挿入してショートさせるというものから、筐体左側面からサブ基板付近を直接狙ってセルを挿入するというものに変化しているようです。筐体左側面から挿入されているセルの手元にはスイッチらしき物があるようで、レバーを叩きながらスイッチで何らかの操作をおこなっていた様子(写真6)が防犯カメラの映像で確認されております。

サミー系スロットのART誘発ゴトの今後の手口の進化や被害機種種の拡大も心配ですが、何度もこの連載でお伝えしているミリオンゴッドのART誘発ゴトで、最悪の手口の進化が確認されました。それは、これまで「ミリオンゴッド」神々の系譜において、電磁波やセルなど何らかのゴトが行なわれた場合、ゴト被害に遭った遊技台には必ずエラー情報履歴には「POWER UP」・「POWER DOWN」、監視履歴には「POWER DOWN」などの履歴が多数残されていたはずなのですが、五月末頃からゴト被害

このゴトを行っているゴトグル



写真4 ミリオンゴッド セルゴト 被害痕跡①



写真5 ミリオンゴッド セルゴト 被害痕跡②



写真6 ミリオンゴッド セルゴト  
ゴト師が手を置いて何かをおこなっていた箇所



ープが、他の店舗に現れた際にこのゴトに失敗したせいで、遊技機にいくつかの特徴的な挙動が残されていたので、次のような挙動が出ていたらゴト被害に遭った可能性が高いのでご注意ください。

- ①液晶画面がブラックアウトしている(落ちる)。  
※電源入り切りでも復旧しない。
- ②枠ランプ基板が飛ぶ。
- ③サブ基板自体が飛ぶ。
- ④内部時計がリセットされる。

## 低貸し玉に移しても被害が大きい恐れ 再三のチェックを

次から次へと新たなゴト手口で被害が多発しているミリオンゴッドを、低貸しコーナーへ移設している店舗も多いのですが、低貸しコーナーへ移設したからといって

も、油断することなく警戒を怠らないようお願いいたします。店舗側は低貸しコーナーでゴトは発生しないと油断している傾向がありますが、万枚クラスの被害が相次いでいるミリオンゴッドのART誘発ゴトは、低貸しであっても被害額が莫大なものになる可能性が高く、実際に低貸し専門店のミリオンゴッドでのゴト被害も多数入ってきております。コース巡回時やモニターチェック時においては、一連の被害事例でも確認されている「遊技台を取り囲む」(両隣が立ち上がりデータを見るしぐさで犯行台を隠す)、「キャッチをおこなう」(不自然な質問攻め)といった挙動に注意するのはもちろんのこと、今号でお伝えしたエラー履歴が残らない手口も出てきておりますので、怪しい出方や怪しい人物、気になる状況があれば、必ず

防犯カメラの映像で遡って安全確認を実施してください。また、2次被害を防ぐためにも、閉店後に必ずエラー情報履歴と監視履歴のチェックを実施することを日課としてください。万が一、営業時間中に不審なエラー情報が残されているようであれば、防犯カメラの映像を確認し、人物を特定して次回犯行に注意し、ゴトの常連化を防いでください。常連のお客様だから安心だ、なんて思っていたらゴト師が常連面して来店していただけなんてことのないように…。

## 「バジリスクII-NH」導入した場合には「ON/OFFの確認を

ちなみに、現在ホールに多数導入されている「バジリスクII-NH」ではメーカーがゴト対策とし

て、メイン基板とサブ基板の間で通信に異常(今までのCOMエラー)を検知した場合、報知音と共にエラー画面で知らせ、遊技を強制的に停止させる「通信異常報知機能」が搭載されております。しかし、この「通信異常報知機能」は、工場出荷時にはデフォルトでOFF設定となっており、各ホールで設置後に「通信異常報知機能」をONにする必要があります。ゆえに、「バジリスクII-NH」を設置している店舗におかれましては「通信異常報知機能」のON/OFF状況をご確認の上、適切な設定にし直してご使用いただくようお願いいたします。

## 「花の慶次〜焰」で不正基板が発生 夜間侵入か内部か

スロットばかりでなく、パチンコでも新ゴトが発生しております。ニューギン「花の慶次」シリーズでは、過去のシリーズでもゴト被害事例が多数発生しておりますが、「花の慶次〜焰」で不正基板によるゴト被害が発生いたしました。発見された不正基板は、主基

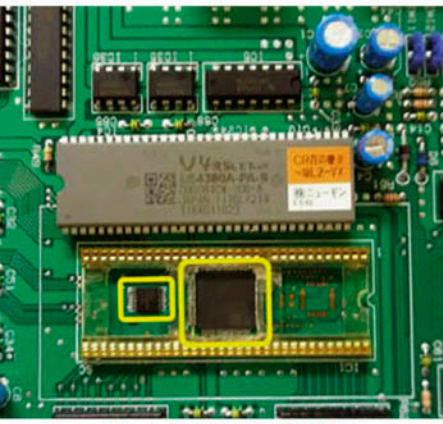


写真7 花の慶次〜焰 不正基板  
ソケット部に仕込まれていた不正ICチップ

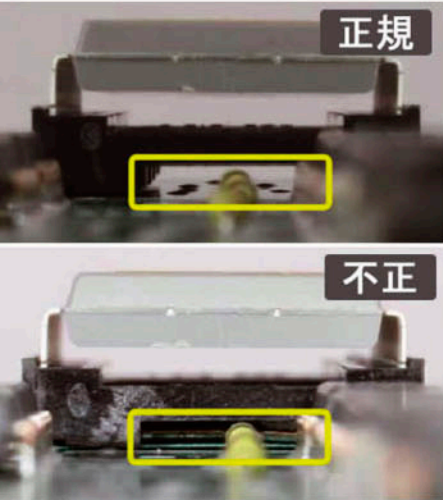


写真8 花の慶次〜斬 不正基板  
過去に見つかった例

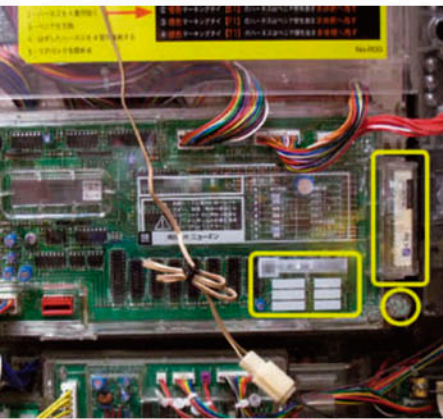


写真9 花の慶次〜焰 不正基板  
痕跡が残る可能性がある個所



板に搭載されているV4チップ（ロム）下にあるソケット部に不正なICチップ（写真7）が隠されるように仕込まれていました。過去には「花の慶次」斬」でも同様の手口による不正基板の被害が発生しており、今回発見された不正基板は、ゴト被害に遭ったホールからメーカーに鑑定依頼に出された結果、不正品であることと共に次のような点が判明したとのことです。①LEDライト等でV4チップとソケットの間を照らして異物の有無を確認することによって正否の判別が可能である（写真8）。②カシメは切断されており、主基板管理番号とV4チップの製造番号が不一致だった。③カシメに切断痕等は見当たらないケースもある。④管理シールが正規品に比べてやや不鮮明なものも確認されている。⑤U-chipシールが変色しているものも確認されている。（写真9）

今回の被害は1台ではなく、複数台が被害に遭っていたとのことなので、営業中の交換による犯行という線は薄く、夜間侵入や内部不正などによって仕込まれた可能性が高いものと思われれます。あら

かじめ不正に改造した不正基板を丸ごと正規の基板と交換するという手口であれば、店舗側が当該遊技台を導入した時にロム管理台帳を作成し、基板管理番号とロム製造番号をこまめに照合することにより、万が一、不正品が仕込まれた場合でも早期に発見することが可能になります。



## 中古機導入したら 払出基板・賞球ケース 念入りに検査を

その他としてパチンコではゴト情報だけでなく、店舗の不正と思われる残念な不正事例の情報も入ってきております。中古台として導入した「CRぱちんこ戦国無双HS3」の1台に、不正ハーネスがついていたとのこと。不正ハーネスが見つかった場所は、払出基板と賞球ケースを繋ぐハーネス部で、過去にも同箇所が不正ハーネスに交換されていた例がありますが、いずれも「出玉賞球をカット」するというBモノ系の不正品でした。今回発見された不正ハーネスも同様な機能のモノと思われれます。

ゴト対策として主基板のかしめやV4チップ、主基板内のICチップ、スタート配線などのチェックは念入りに実施していることと思われませんが、中古台を導入する際には、払出基板・賞球ケースなどのチェックも忘れずに実施してください。



## 山佐で2件の情報 コネクタ内や サブ基板の裏側

そして、今回もこの原稿の締め切り日（6月15日）に、新たなゴト被害情報が2件飛び込んできました。2件とも山佐のスロットで、被害機種は「パチスロ鉄拳2ZX」と「パチスロ鉄拳2デビルVer」で、「パチスロ鉄拳2ZX」はサブ基板の裏側に不正部品が取り付けられていたとのこと。「パチスロ鉄拳2デビルVer」の方は、サブ基板側のコネクタが改造されて、コネクタ内に不正なチップが埋め込まれていたとのこと。コネクタ内に不正なチップが埋め込まれたゴト事例は、過去にはスロットの4号機で不正サブハーネスや不正スタートレバーハー

ネスで多く発生したゴト事例です。この4号機のスロットでは、いろいろなタイプの不正が出た後の最終形態として、コネクタ内に小型化された不正なチップが仕込まれた不正ハーネスが登場したイメージがあります。しかし、メーカーがゴト対策として、コネクタ部にカバーをつけたりしてハーネスの交換をやりにくくしている現在では、このゴトはまだまだ進化する可能性があるため、要注意しなければなりません。そして、この2種類のゴト事例は、山佐のART機スロット全機種で発生する可能性がありますが、詳細な手口など不明な点は多数ありますが、サブ基板の裏側のチェック、サブハーネスのコネクタ根元部分のチェック、サブ基板のかしめ部の傷チェックなどは慎重に丁寧に徹底して実施するようお願いいたします。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち  
警備会社の指導員、セキユリティー会社を経て2003年、有限会社ジャパン・セキユリティー・サービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。かたわら、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「一期一会」が座右の銘。